

# 3-1

## より質の高いターミナルケアを提供するには

御岳園の過去五年間のターミナルケアを振り返って

### ターミナルケア

ユニットケアにおける取り組み

特別養護老人ホーム 御岳園

発表者：ケアワーカー 小山 晃弘	生活相談員 田中 憲作 ユニットリーダー 吉川 恵子
所在地：東京都青梅市御岳本町163番地1	看護師 渡辺 友子 ユニットリーダー 白石 貴之
TEL：0428-79-0802	E-mail: m-soudan@busonkai.com
FAX：0428-79-0803	URL：http://www.busonkai.com/mitakeen/

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	東京の奥座敷・御岳溪谷を眼下に、四季折々の花々や新緑・紅葉を眺めることができる自然の中、特別養護老人ホーム御岳園はあります。入所定員は60名、全室13.22㎡（約8畳）の個室で、8ユニットに分かれています。1ユニット7名から8名の構成になっています。
----------------------------	---

#### 〈取り組んだ課題〉

ユニット型 特別養護老人ホーム御岳園は開設5年目を向かえ開設当時より委託医の夜間住診対応が可能であったので自然形でターミナルケアを実施してきました。

昨年のアクティブ in 東京に参加して、ターミナル部門において「本人の不安と家族の揺れ動く心をサポートするなかで」を発表しました。発表後、いくつかの課題を見出すことができ、一番の課題であったのが「看取り体制の時に、徘徊・不眠・暴力のあるショートステイを受けいける事は、十分な看取りのケアができない」という問題でした。職員アンケートを行いどのような取り組みを行えばより良いターミナルケアに繋がるかアンケートを行いました。

#### 〈具体的な取り組み〉

平成20年度は11人の家族より看取り依頼があり実施してきました。人生最後の生活の場として、御岳園で生活したいという本人・家族の希望にいかにか添えるようにするかを課題として、アンケート調査を実施しました。人生最後を御岳園で迎えたいと返答が76%ありました。ケアワーカーとナースが過去5年を振り返りより質の高いターミナルケアを行うには私達はこのケアをどのように受けとめどのように考えればいいのか。沢山のアンケートの調査の結果ケアの悩みや不安や戸惑いがありました。それに対しユニットリーダーやナースや相談員が何度も何度も話し合い最終的にはケアの対応方法を個々にレポートとして提出することにしました。

#### 〈活動の成果と評価〉

前回の課題である、看取り体制の時に、徘徊・不眠・暴力のあるショートステイを受けいける事は、十分な看取りのケアができないという問題には

① 専門医を受診する。

② 診断名に基づいた内服加療調整を終了している。

①・② を前提にショートを受け入れる

③看取りケアの充実を図るため、ケアワーカーの遅番・早番体制とナースも遅番・早番体制をすることとした。

質の向上にはターミナルケアを継続するにあたり今まで以上にナースと連携を密にし

① ユニットリーダーを中心に経験の少ないワーカーに対し適切に指導を行う。

② 新人職員には御岳園独自のターミナルケア研修をパワーポイントで作成し 研修会を行う。

#### 〈今後の課題〉

アンケート結果より今年度は、「看取り」を依頼される事は、ワーカー・看護師に対して、しいては御岳園に対しての信頼関係の構築の結果であるとほぼ全員が受け止めています。御岳園としての独自の看取りケアの体制がほぼできあがっている事が明確化しました。相談員・ユニットリーダーから看取りに対してのレポートは、最後までケアをする事の意識の高さが伺えました。今後、今回の発表を生かし「看取りケア」が仕事のやりがいや・達成感となる様、各ユニットでリーダーが中心となり、アプローチする必要がある事を共通認識として持つことができるまでの過程を発表します。

### 【メモ欄】